

# VB350

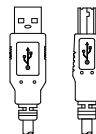
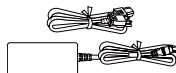
カメラ・マイクスピーカー内蔵サウンドバー(USB 接続方式)

## クイックガイド

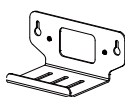


# パッケージ同梱物

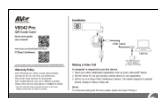
VB350 カメラ本体	赤外線 操作リモコン	電源アダプタ・ 電源ケーブル	USB ケーブル 約 3m USB 3.0 Type-B オ ス Type-A オス
----------------	---------------	-------------------	---



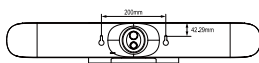
USB 変換アダプタ Type-A メス Type-C オス	壁掛けマウント	三脚穴用固定ネジ 2 個	QR コードカード
--------------------------------------	---------	-----------------	-----------



1/4"-20 L=7.5mm



## 壁掛けマウント取付穴 あけガイド用紙



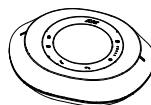
- \* 電源コードのプラグ形状は販売される国や地域により異なります。
  - \* 本製品同梱の電源ケーブルは、本製品同梱の電源アダプタでのみ使用してください。
- 本製品同梱の電源ケーブルは、他の電気機器では使用できません。

## オプション販売品

増設マイク  
(同梱ケーブル 10m または 20m 選択)



増設マイクスピーカー  
(同梱ケーブル 10m または 20m 選択)



TV モニタ取付用 VESA 取り付けマウント

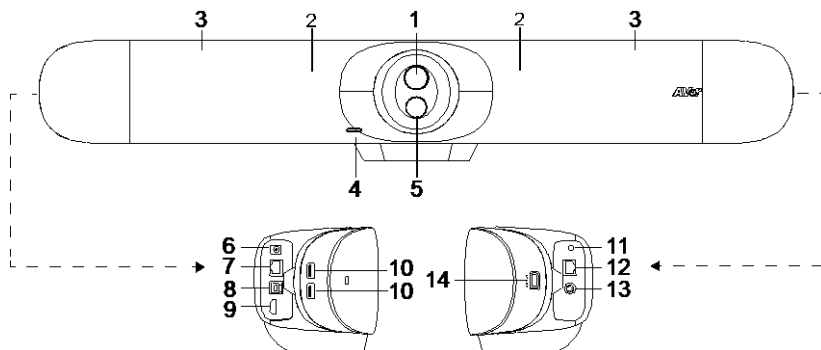


\*オプション販売品は、販売される国や地域により異なります。

\*\*オプション販売品の購入は、製品を購入された弊社販売代理店まで、お問い合わせください。

# 製品概要

## 各部名称



- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| (1) ズームレンズ                     | (9) HDMI 出力端子(TV 接続用)*      |
| (2) 赤外線受光部                     | (10) USB 2.0 Type A 端子      |
| (3) 集音マイク (合計 14 基内蔵)          | (11) PHONE IN 入力            |
| (4) 状態表示 LED                   | (12) 増設マイク(マイクスピーカー用)端子     |
| (5) 固定レンズ                      | (13) RS232 Port             |
| (6) DC 12V 電源差込口               | (14) USB 2.0 端子(使用できません)*** |
| (7) 通信用イーサネット端子 (RJ-45)        |                             |
| (8) USB 3.0 Type B 端子 (PC 接続用) |                             |

\*PC の本機の USB3.1(Gen1) 端子を接続時、DisplayLink 機能をご利用いただけます。※

※DisplayLink 機能の使用には、DisplayLink のドライバインストールが必要です。下記 URL よりご利用環境に合致したドライバをダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.synaptics.com/products/displaylink-graphics>

\*\*\* この端子は使用できません。

## 状態表示 LED

**電源オン:** 青色に一回点滅

**起動中:** 赤点灯

**電源オン(USB 接続なし):** オレンジ点灯

**電源オン(USB 接続あり・デバイス待機中):** 白点灯

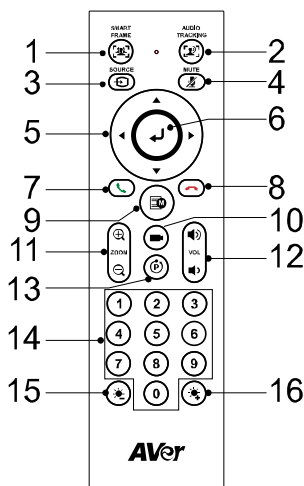
**カメラ映像と音声出力中:** 青点灯

**通話呼出中:** 白または青で高速点滅

**カメラ映像出力中(通話中)のマイクミュート:** 赤点灯

**保留中:** 白、青、または紫の高速点滅

# 操作リモコン



## ボタン名称

## ボタン機能

### 1. SmartFrame

このボタンを一度押すと「自動画角調整」機能が動作し、カメラ映像内の人物全員が中央に映るよう、画角が自動調整されます。  
このボタンを長押しすると「自動画角調整」が手動→自動→オフの順に切り替わります。  
「自動画角調整」が有効時、画面左上に下図のアイコンが2秒ほど表示されます。  
このアイコンを非表示にするには、PTZApp2または Web 管理画面から、「オンスクリーンメニュー」を「オフ」に設定します。



### 【注意】

- SmartFrame 機能はマスクを着用している顔や横向きの顔も検出できません。顔を検出可能な距離は最大約 5 m です。
- 映像内の人物が移動した場合、カメラは移動した人物を追跡します。
- 移動した人物が1～5秒間動きを止めると、PTZApp2/Web 管理画面で設定したフレーム調整速度に従い、人物へのズームイン/アウトを実行します。
- フレーム調整速度はデフォルトで「中速」に設定されています。
- 追尾対象が一人の場合は、「高速」の設定を推奨します。
- AI 追尾機能有効時にパン・チルト・ズーム操作をすると「手動フレーム」に変更されます。

## ボタン名称

## ボタン機能

### 2. Audio AI Control

このボタンを長押しすることで、オーディオトラッキング→プレゼンテーション→オーディオフェンス→オフの順に各モードの切り替えを行います。

- ・動作中のモードを示すアイコンは画面左上に表示されます。
- ・このアイコンを非表示にするには、PTZApp2 または Web 管理画面から、「オンスクリーンメニュー」を「オフ」に設定します。



オーディオトラッキング/プレゼンテーション有効時アイコン

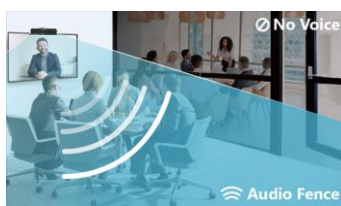


オーディオフェンス有効時アイコン

#### [注意]

**オーディオトラッキング:** 発言者がカメラ映像の中央に映るよう、自動的にカメラの PTZ 調整を行います。カメラから被写体までの距離は最大で約 5 m が目安です。

**プレゼンテーションモード:** 最初に PTZApp2 または Web 管理画面、付属リモコンを使用し、プリセットを設定します(プリセット 1~9、プリセット 0 はホームポジションとして使用します)。登録したプリセット位置で人物が発言すると、登録済みのプリセットを自動的に呼出します。プリセット位置の範囲外で発言を検出すると、その発言者に対して画角調整を行います。発言者が発言を終了しあらかじめ設定した待機時間が経過すると、最後に呼出されたプリセットが再度自動的に呼出されます。



**オーディオフェンス:** PTZApp2 または Web 管理画面から設定したカメラの撮影範囲に応じて、撮影範囲外の音を低減します。

[注意] オーディオフェンス機能有効時は、すべての AI 追尾機能、PTZ 機能が無効になります。

### 3. Bluetooth

本機能は日本では使用できません。

### 4. ミュート切換

マイクのミュート機能オン/オフを切り替えます。

### 5. カメラ方向キー

方向ボタンを使用して、カメラ上下/左右方向の操作を行います。ボタンを長押ししている間、左右パンまたは上下チルトの継続動作が可能です。

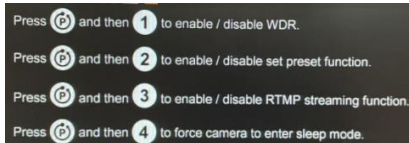
### 6. Enter

このボタンを押すと、現在有効な自動画角調整機能のアイコンが画面に表示されます。また同時にカメラのフォーカス調整を 1 回実行します。

### 7. 応答

通話を開始、または応答します。

8. 終話	通話を終了します。
9. OSD メニュー	ジェスチャーコントロールに関するガイドが表示されます。
10. プリセットショートカット	ボタンを押すと保存済みのプリセットを番号順に呼び出します。
11. ズームイン/ズームアウト	カメラのズームイン/ズームアウトを操作します。
12. 音量調整	スピーカー音量(+/-)を調整します。
13. コンパウンドキー	このボタンを押すとカメラ映像内に下図が表示されます。次に有効にした機能に応じたボタンを順に押し続けて操作を行います。



- (P) ボタン押下後 ① を押す→WDR 機能 有効/無効 切替
- (P) ボタン押下後 ② を押す→プリセット保存 有効/無効 切替
- (P) ボタン押下後 ③ を押す→RTMP 機能 有効/無効 切替
- (P) ボタン押下後 ④ を押す→カメラを強制スリープ

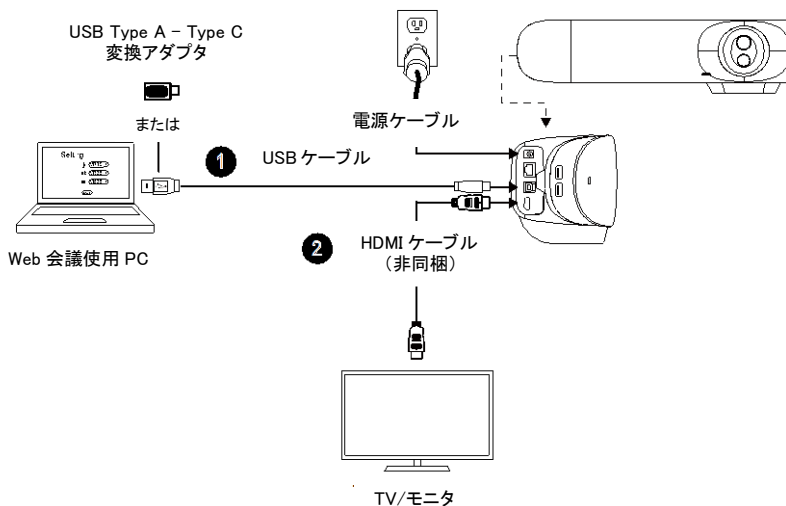
※USB ストリーミングが有効の場合、この機能は動作しません。

14. 番号ボタン	<b>ボタンを長押し:</b> プリセット位置を保存します。 <b>ボタンを短押し:</b> 保存したプリセットを呼び出します。
15. 明るさ -	カメラ映像を暗くします。
16. 明るさ +	カメラ映像を明るくします。

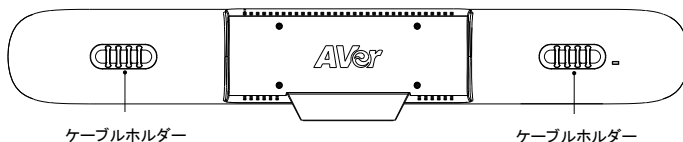
# 機器との配線

## 周辺機器との配線

1. 同梱 USB 3.0 ケーブルを使用し VB350 本体と Web 会議使用 PC を接続します。  
同梱の電源アダプタ及び電源ケーブルを使用し VB350 本体へ給電します。



- ケーブルの固定・整理には VB350 本体背面のケーブルホルダーをご活用ください。



\*USB 2.0 および USB 3.1 接続の解像度とフレームレート:

USB 2.0 接続時		USB 3.1 接続時	
YUV	M-JPEG	YUV	M-JPEG
- 640x480 以下/30fps	- 最大 1080p/30fps	- 最大 1080p/30fps	- 最大 4K/30fps
- 最大 720p/15fps		- 720p/60fps	

## DisplayLink 機能の使用(USB 接続による VB350 本体 HDMI 端子経由での PC 映像出力)

HDMI ケーブル(非同梱)を使用し、VB350 本体とテレビ/モニタを接続します。

DisplayLink 機能の使用には、DisplayLink のドライバインストールが必須です。

ご利用の PC 環境に DisplayLink のドライバがインストールされていない場合は、

下記 URL よりご利用環境に合致したドライバをダウンロード・インストールしてください。

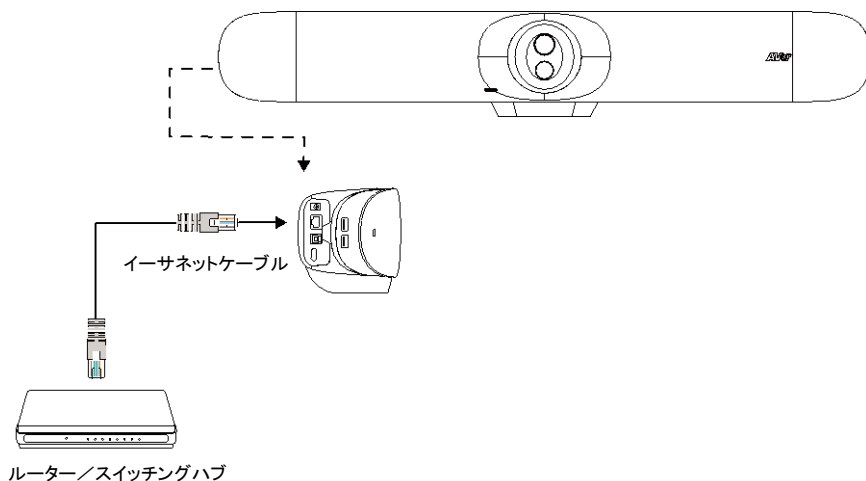
<https://www.synaptics.com/products/displaylink-graphics>

## イーサネット接続・Web 管理画面へのログイン

VB350 は IP ネットワークを使用した Web ブラウザからの遠隔ログインに対応しています。

- ・Web ブラウザの URL にデフォルト IP アドレス 192.168.1.168 を入力します。
- ・デフォルトパスワード「aver4321」を入力します。
- ・デフォルトパスワード入力後、使用する任意の ID・パスワードを入力します。
- ・再度ログインが要求され設定した任意の ID・パスワードを再度入力し Web 管理画面へログインします。

[注意] Web 管理画面ログインに使用する PC の IP アドレス設定は、「カメラ本体の IP アドレス」と同一セグメントに設定されている必要があります。

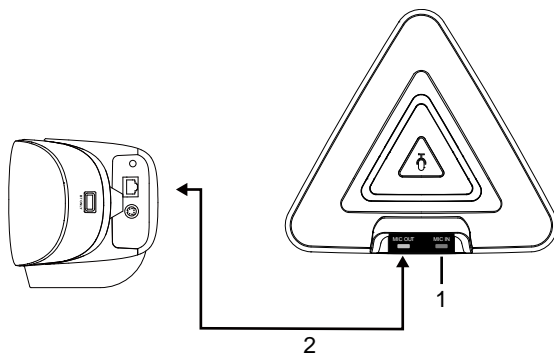


## 増設マイク(別売)の接続

増設マイクは別売のオプション品です。弊社製品販売代理店からのみ、ご購入いただけます。

集音範囲を拡張し、ミュート/ミュート解除操作を行うことができます。

[注意] 増設マイクにはケーブルが付属しています。ケーブル長は 10m/20m の2種類から選ぶことができます。



1.VB350 使用時に、このポートは使用しません。増設マイクは1つのみ増設が可能です。

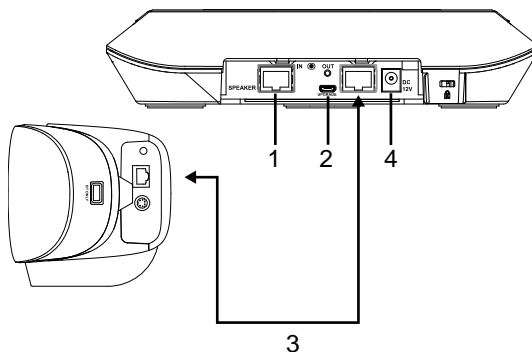
2.付属 RJ45 ケーブルを増設マイクの MIC OUT と書かれた端子に接続し、反対側の端子は VB350 の端子に接続します。

## 増設マイクスピーカー(別売)の接続

増設マイクスピーカーは別売のオプション品です。弊社製品販売代理店からのみ、ご購入いただけます。

増設マイクスピーカーを設置することで、スピーカーの追加・マイク集音範囲の拡張を行うことができます。

[注意] 増設マイクスピーカーにはケーブルが付属しています。ケーブル長は 10m/20m の2種類から選ぶことができます。



1. VB350 使用時に、このポートは使用しません。デジチェーン接続には対応していません。
2. マイクロ USB ポート: 増設マイクスピーカーのファームウェアを更新する場合、マイクロ USB ケーブル(非同梱)を使用して PC に接続してください。その後、PTZApp 2 を起動して、ファームウェアを更新します。
2. RJ45 ケーブル(同梱)の「黄色のコネクタ部」を「増設マイクスピーカーの黄色 LAN 端子」に接続し、「赤色のコネクタ部」を「VB350 本体の赤色 LAN 端子」に接続してください。
4. 製品付属の DC 電源アダプタを接続し、電源を供給してください。

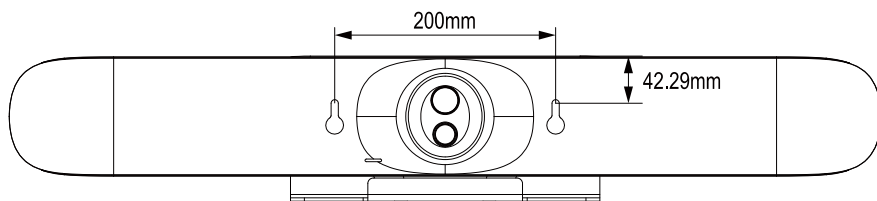
## 壁掛けマウント(同梱品)の設置

1. 穴あけガイド紙を壁面に貼り、2箇所を取付穴を開け、固定用ネジを壁にねじ込みます。後で壁掛けマウントを壁に固定するため、壁とネジの間にスペースを空けてください。

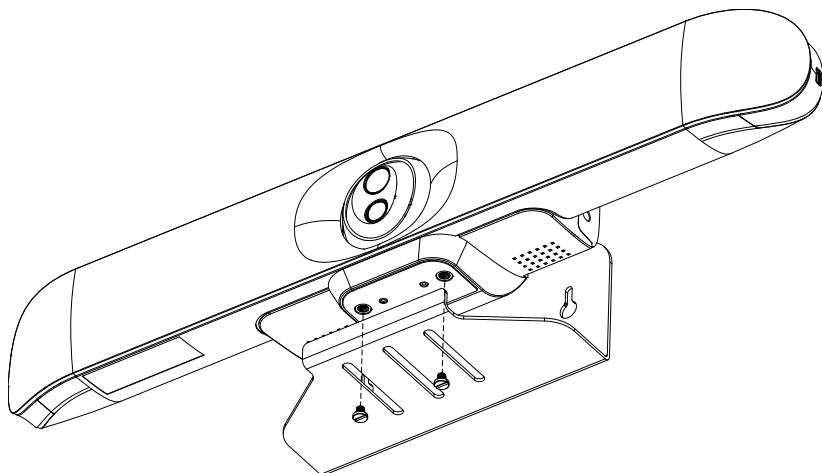
注意: 壁掛けマウントを壁に固定するにはネジ 2 本が必要です。(固定ネジは製品に同梱されていません)  
設置必要に応じて、アンカーを使用してください。

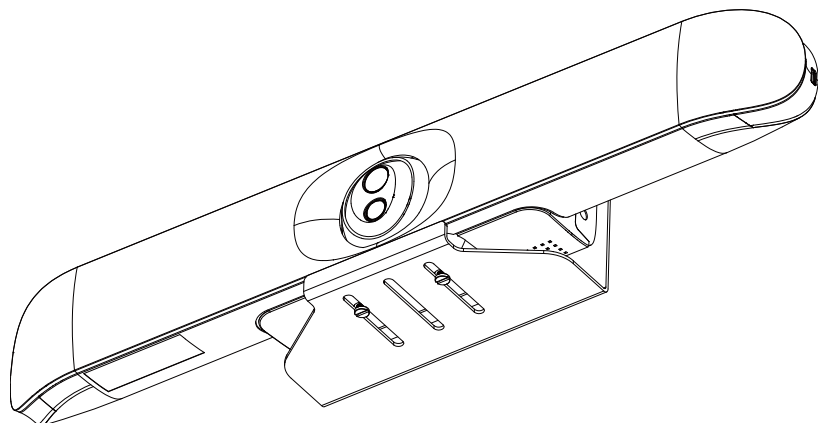
コンクリート壁用 M5 x20mm セルフタッピングネジ (x2) + プラスチック円錐アンカー

木製壁用: M5 x20mm セルフタッピングネジ (x2)

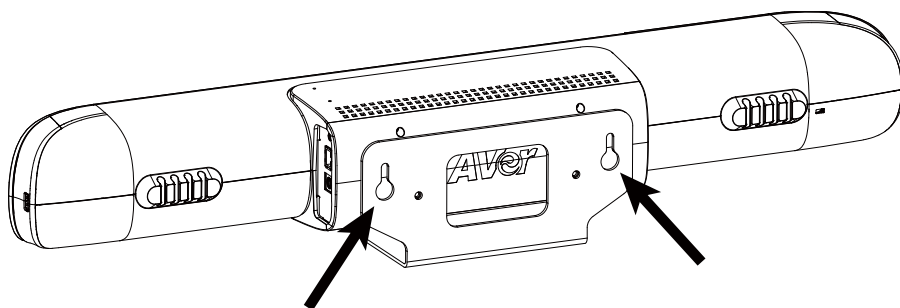


2. 付属ネジ 2 本を使用し付属 壁掛けマウントをカメラの底面パネルに固定します。





3. 壁掛けマウントの取り付け穴を壁の2つのネジに合わせ、壁掛けマウントを壁に掛けます。



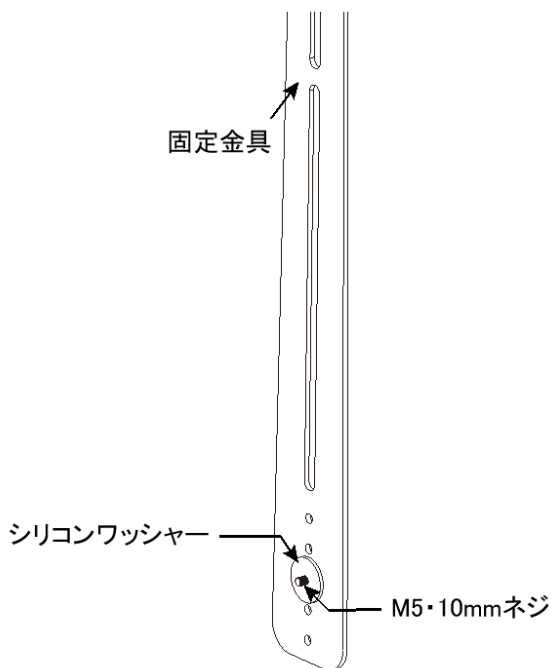
## TV モニタ取付用 VESA マウントによる設置 (別売)

VESA マウント同梱物:

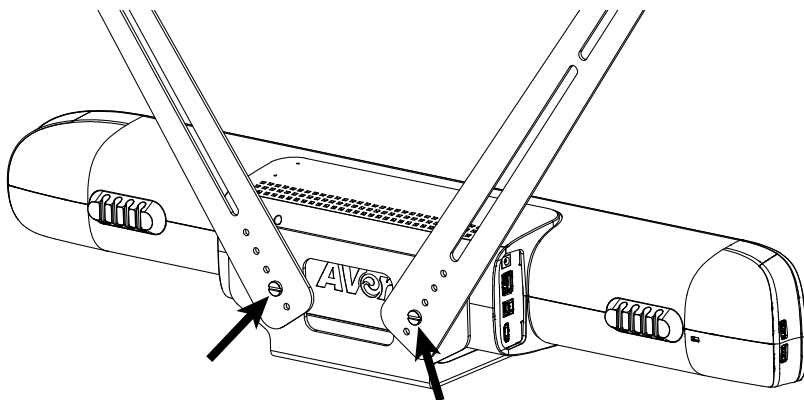


- |              |              |
|--------------|--------------|
| M5・10mmネジ x2 | シリコンワッシャー x2 |
| M6・15mmネジ x4 | 金属ワッシャー x2   |
| M6・20mmネジ x4 | M6 ワッシャー x4  |
| M8・20mmネジ x4 | M8 ワッシャー x4  |
| M8・30mmネジ x4 |              |

1. M5・10mm ネジとシリコンワッシャーを、固定穴 (5段階調整可能) に通します。

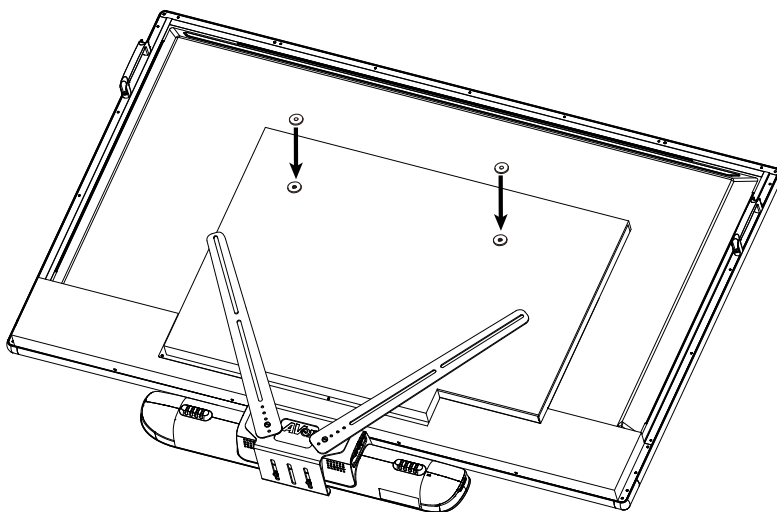


2. カメラ本体背面のネジ穴と固定金具を固定します。この段階では、きつく締めないでください。固定金具を固定するためのねじ穴は5段階で選択できます。

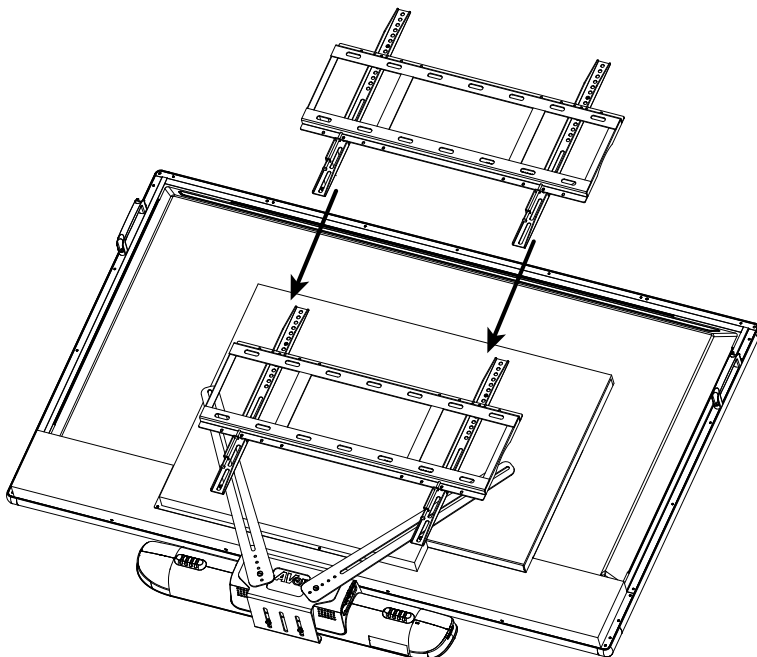


3. 下図の通り、テレビの VESA 取り付け穴に、金属ワッシャーを置きます。

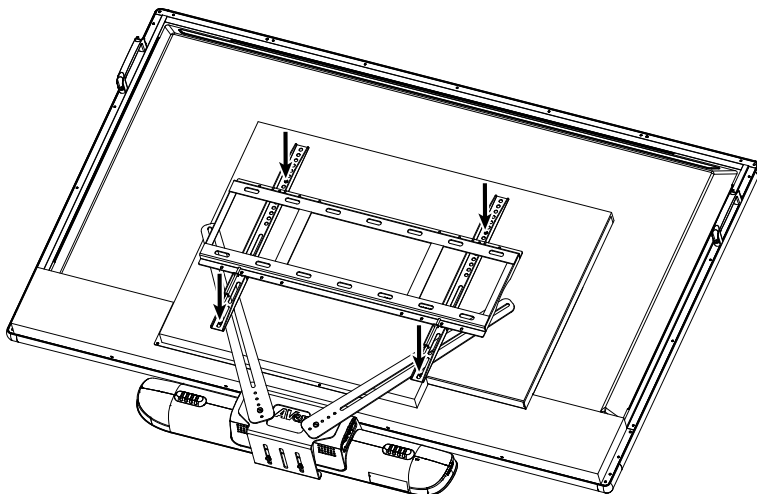
[注] マウントラック設置不要の場合は、手順 3 ~ 5 を飛ばして手順 6 に進んでください。



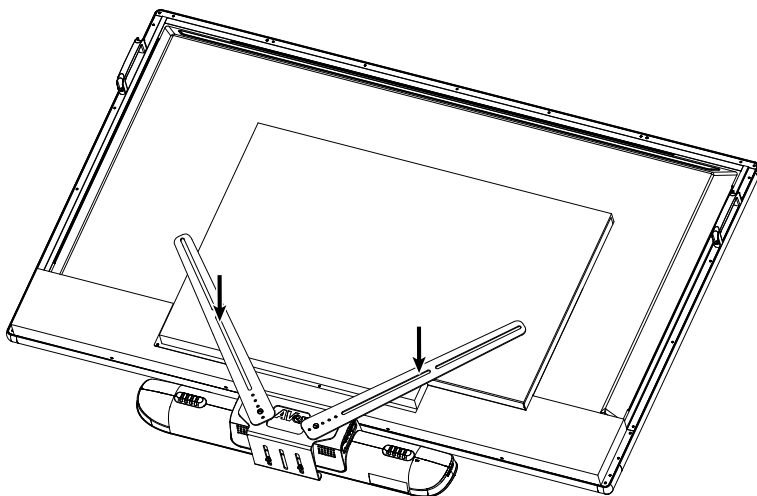
4. マウントラックを上に乗せます。



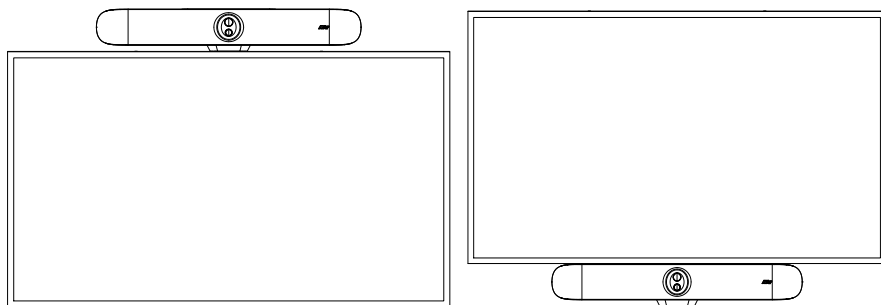
5. マウントラックと固定金具をテレビに固定します。この段階ではネジをきつく締めないでください。必要に応じてマウントラックと固定金具を適切な位置へ調整し、最後に全てのネジをしっかりと締めてください。



6. テレビのマウントラックを設置する必要がない場合は、固定具をテレビに固定してください。その後、必要に応じて固定具を適切な位置に調整してください。最後に、すべてのネジをしっかりと締めてください。



7. カメラはテレビの上または下に取り付けることができます。固定方法はいずれも同じです。上記の手順に従いカメラを固定してください。



## 警告:

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

## 免責事項

このドキュメントの内容、その品質、パフォーマンス、商品性、または特定の目的への適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行われません。このドキュメントに記載されている情報は、信頼性について注意深くチェックされています。ただし、不正確な点については責任を負いません。このドキュメントに含まれる情報は、予告なしに変更される場合があります。

AVer Information Inc.は、この製品またはドキュメントの使用または使用不能に起因する直接的、間接的、特別、偶発的、または結果的な損害について、そのような損害の可能性について知らされていたとしても、いかなる場合も責任を負いません。

## 商標

「AVer」は、AVer Information Inc.が所有する商標です。説明目的で使用される他社の商標は、それぞれの会社にのみ帰属します。

## 著作権

©2022AVer Information Inc. All rights reserved. All rights of this object belong to AVer Information Inc. 当社の事前の許可なしに、いかなる形式または手段によって本紙を複製または送信することは禁じられています。本紙の情報または仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。

■仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。本紙の情報は参照のみを目的としています。

■本紙の内容は事前通知なしに変更される場合があります。表記内容に誤りがある場合はご連絡ください。

## 警告・注意

- ・火災や感電防止のため機器を雨や湿気にさらさないでください。製品に不正な変更が加えられた場合、製品保証は無効となります。
- ・カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- ・カメラの損傷を防ぐため、正しい電源電圧を使用してください。
- ・コードを踏む可能性のある場所にカメラを置かないでください。リードやプラグが損傷する可能性があります。
- ・カメラ底面部を両手で持ち、カメラを動かしてください。カメラを動かす際にカメラ回転部を手で持たないでください。

## リモコンの電池の安全性に関する情報

- 電池は涼しく乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みの電池をゴミ箱に捨てないでください。使用済み電池は各自自治体に定められた廃棄方法で適切に廃棄してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。電池の液漏れや腐食により、リモコンが損傷する可能性があります。
- 古い電池と新しい電池と一緒に使用しないでください。また、アルカリ乾電池、標準電池（炭素亜鉛）、充電式電池（ニッケルカドミウム）など、さまざまな種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を高温の場所や炎に近づけないでください。
- バッテリー端子をショートさせないでください。